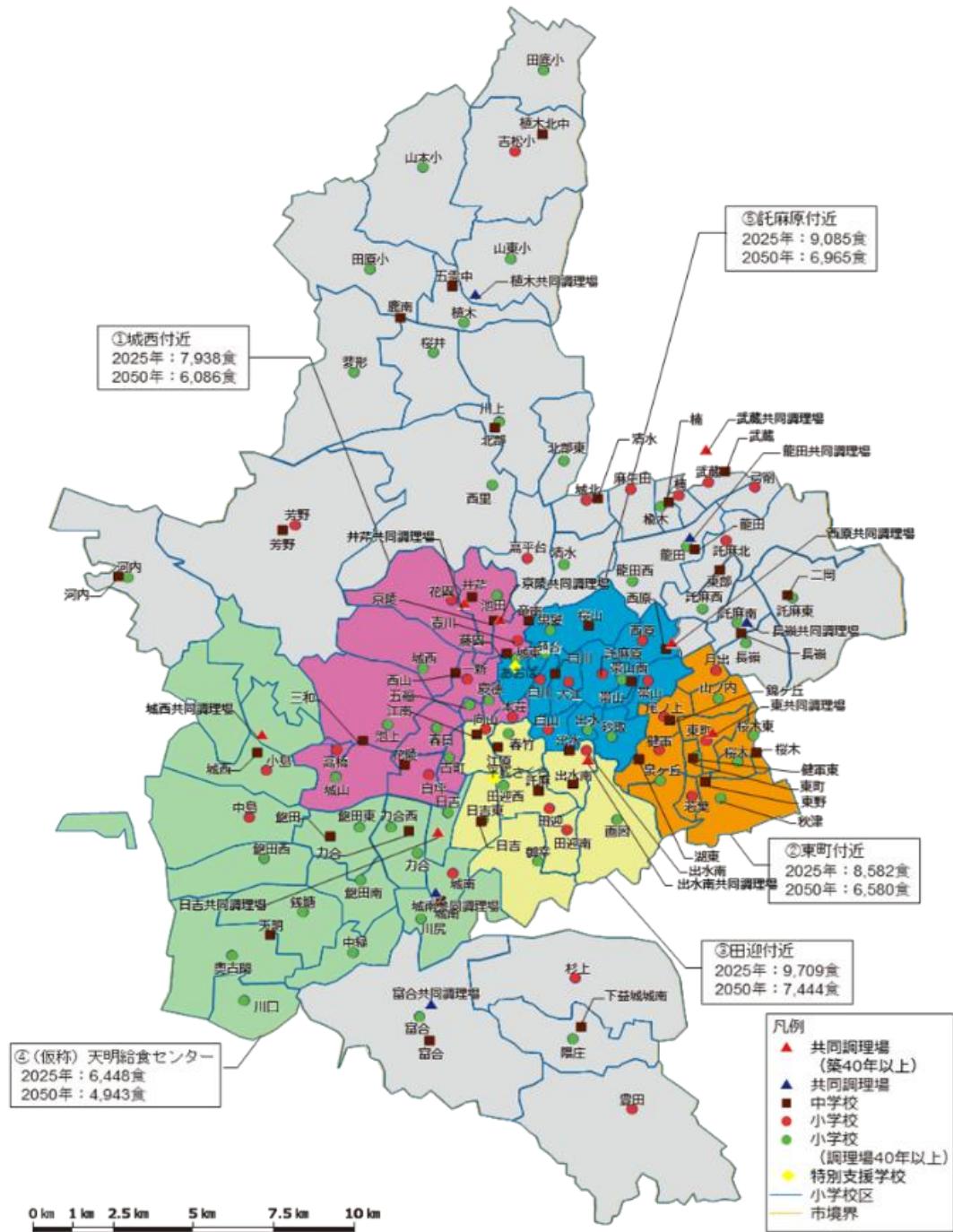


(仮称)天明給食センターの整備について

1 建設地について

- ・右図色分け地図の緑色部分が(仮称)天明給食センターの配達予定地域である。
 - ・建設候補地として、熊本市南区錢塘町の「錢塘小学校グラウンド・プール跡地」を想定している。

下図：熊本市学校給食施設整備基本構想における給食センター配置案



2 施設規模の留意点について

- ・施設の規模について、通常稼働時は 2050 年の児童生徒数に教職員分を上乗せした食数に対しての運用を想定しているが、危機管理対応のため、通常稼働時に一定程度の余剰能力(基本構想検討段階では 10%程度を想定)を加えた食数に対応できる施設規模を想定すること。
 - ・令和 13 年(2031 年)に(仮称)天明給食センターが稼働した後、すぐに全配送校の給食を調理するわけではなく、人口規模の変化に応じて段階的に既存給食室を閉場するため、適正なスケジュール・プランを年次ごとに検討すること。また、本計画の配送エリアに含まれる既存共同調理場については、直ちに閉場することは想定しておらず、配送校の一部が集約され、調理能力に余剰が生まれるため、エリア内外への配送プランの変更を含め、最適な運用方針を検討すること。
 - ・令和 9 年度(2027 年度)から天明中、中緑小、錢塘小、奥古閑小、川口小は閉校となり、天明みらい学園となる。令和 9 年度(2027 年度)～令和 12 年度の給食は近隣の給食施設にて調理し、天明みらい学園に配達する。

下表：(仮称)天明給食センターの配送対象校における食数推計(教職員分を含む)